

人輝き 未来広がる 田園協奏都市

にほき

広報

2025

西脇工業高校
陸上競技部

全国大会出場特集号

No.265

大会記録塗り替え圧勝——
2年連続35度目の都大路へ

第80回兵庫県

全国大会は12月21日（日）に京都市のたけびしスタジアム京都（西京極陸上競技場）を発着点として開催されます。市民の夢と希望をたすきに乗せて、冬の都大路を疾走する西脇工業高校陸上競技部の選手の皆さんに温かい声援を送りましょう。

大会新記録で連覇のゴールテープを切る7区七條拓也選手〔11月3日／丹波篠山市〕



単独走で2位に大差をつけた1区新妻遼己選手



トップを守る5区岩崎奏選手



粘りの走りを見せる6区岸本周真選手



タスキをつなぐ2区中道琉惺選手と3区新妻昂己選手

にっこり笑って元気よく・感謝!!

西脇工業高校陸上競技部は、11月3日に丹波篠山市で行われた兵庫県高等学校駅伝競走大会で、男子は大会新記録で2年連続30回目の頂点に輝くことができました。これもひとえに西脇市民の方々の大きなご声援のおかげと、選手共々感謝の気持ちでいっぱいです。

陸上競技部は67名が力を合わせてつかった「優勝」という2文字は、大きな目標に向かって頑張ってきた選手たちへのご褒美だと思いますので、心から大きな拍手を送りたいと思います。

本年度のトラックシーズンでは、全国インターハイ・国民スポーツ大会で2名の選手が日本一となり、良い流れで駅伝シーズンに入ることができました。全国高校駅伝では「集中力」「判断力」「決断力」を求められますが、苦しい練習に耐えてきた選手たちなら、どんな状況でも十分に対応できると信じています。

大会まであと少しですが、健康管理に留意し、感謝の気持ちを胸に、部員全員で都大路を笑顔で元気よく走らせたいと思います。温かいご声援をよろしくお願いいたします。

西脇工業高校陸上競技部スタッフ
永井宏明 吉良勇太 松永光雄
後藤陽平 奥村祐太郎



後続を引き離す4区佐伯優月選手



男子／全国大会出場34回 — 8度の全国制覇

①昭和52年 (第28回大会)	第9位	2時間14分02秒
②昭和54年 (第30回記念大会)	第18位	2時間14分36秒
	(近畿代表)	
③昭和57年 (第33回大会)	優勝(初)	2時間08分46秒
	(大会歴代2位)	
④昭和59年 (第35回記念大会)	第4位	2時間09分23秒
	(近畿代表)	
⑤平成元年 (第40回記念大会)	第2位	2時間04分50秒
	(大会新・全国高校最高記録)	
⑥平成2年 (第41回大会)	優勝(2回目)	2時間05分44秒
	(大会歴代3位)	
⑦平成3年 (第42回大会)	第5位	2時間08分23秒
⑧平成4年 (第43回大会)	優勝(3回目)	2時間05分12秒
	(大会歴代3位)	
⑨平成5年 (第44回大会)	第3位	2時間06分43秒
⑩平成6年 (第45回記念大会)	優勝(4回目)	2時間03分21秒
	(大会新・全国高校最高記録)	
⑪平成7年 (第46回大会)	優勝(5回目)	2時間05分20秒
	(2連覇)	
⑫平成9年 (第48回大会)	優勝(6回目)	2時間03分18秒
	(大会新・全国高校最高記録)	
⑬平成10年 (第49回大会)	優勝(7回目)	2時間03分32秒
	(大会歴代3位・2度目の連覇)	
⑭平成11年 (第50回記念大会)	第2位	2時間05分06秒
⑮平成12年 (第51回大会)	第14位	2時間08分10秒
⑯平成13年 (第52回大会)	第3位	2時間04分57秒
⑰平成14年 (第53回大会)	優勝(8回目)	2時間04分03秒
	(大会史上最多優勝回数)	
⑱平成15年 (第54回大会)	第3位	2時間04分49秒
⑲平成16年 (第55回記念大会)	第11位	2時間06分01秒
⑳平成18年 (第57回大会)	第4位	2時間05分16秒
㉑平成19年 (第58回大会)	第3位	2時間05分29秒
㉒平成20年 (第59回大会)	第7位	2時間05分23秒
㉓平成21年 (第60回記念大会)	第2位	2時間04分37秒
	(近畿代表)	
㉔平成23年 (第62回大会)	第4位	2時間05分42秒
㉕平成24年 (第63回大会)	第2位	2時間04分46秒
㉖平成25年 (第64回大会)	第10位	2時間05分55秒
㉗平成26年 (第65回記念大会)	第19位	2時間07分03秒
㉘平成27年 (第66回記念大会)	第16位	2時間05分35秒
	(近畿代表)	
㉙平成28年 (第67回大会)	第6位	2時間05分41秒
㉚平成30年 (第69回大会)	第13位	2時間06分36秒
㉛令和元年 (第70回記念大会)	第24位	2時間05分51秒
㉜令和3年 (第72回大会)	第7位	2時間03分50秒
㉝令和4年 (第73回大会)	第6位	2時間04分16秒
㉞令和6年 (第75回大会)	第13位	2時間05分52秒

女子／全国大会出場9回

①平成元年 (第1回大会)	第28位	1時間15分03秒
②平成2年 (第2回大会)	第11位	1時間11分14秒
③平成3年 (第3回大会)	第7位	1時間10分16秒
④平成5年 (第5回記念大会)	第12位	1時間10分22秒
⑤平成26年 (第26回大会)	第17位	1時間10分40秒
⑥平成27年 (第27回記念大会)	第5位	1時間08分51秒
⑦平成28年 (第28回大会)	第2位	1時間08分08秒
⑧平成29年 (第29回大会)	第6位	1時間08分46秒
⑨令和4年 (第34回大会)	第20位	1時間11分23秒

西脇工高

全国大会・栄光の軌跡

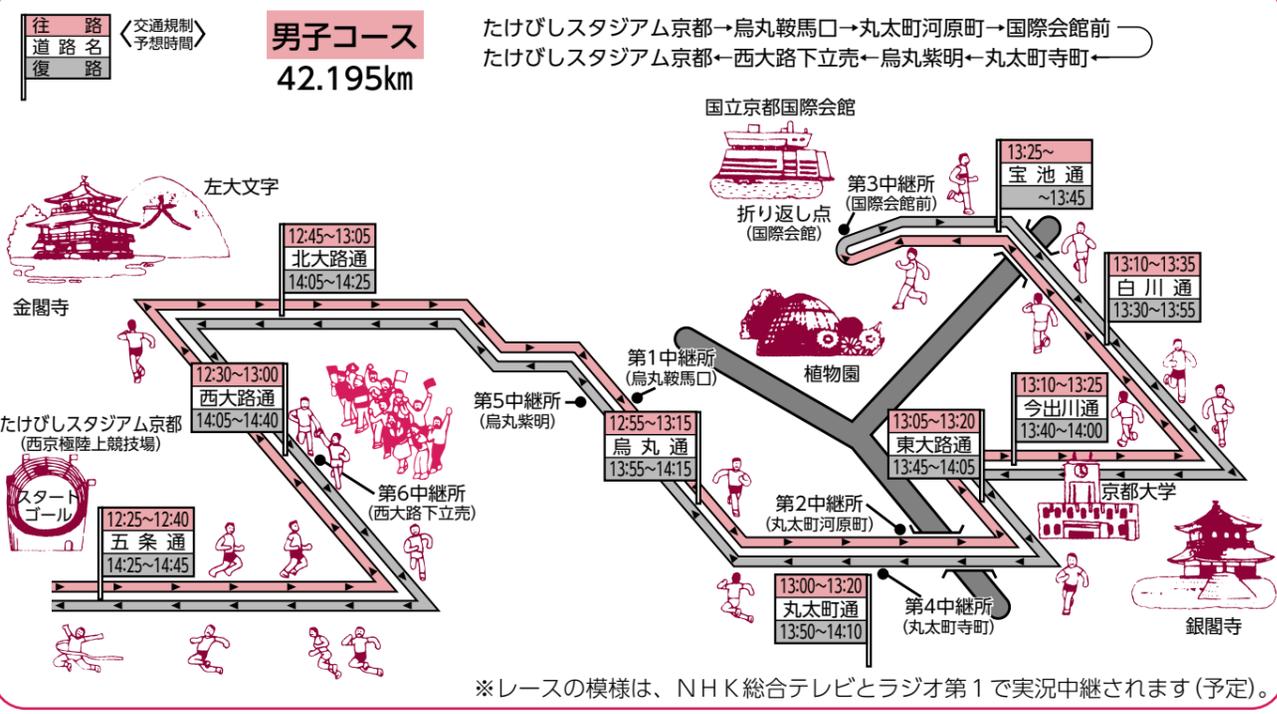


男子第76回全国高校駅伝代表校

(ナンバーカード順、白ヌキ数字は予選タイムベスト10)

都道府県	代表校名	出場記録	予選記録	都道府県	代表校名	出場記録	予選記録
1 北海道	札幌山の手	7年連続 ^⑰	2:07:01	25 滋賀	滋賀学園	3年ぶり ^⑰	2:11:42
2 青森	青森山田	10年連続 ^⑳	2:05:27	26 京都	洛南	11年連続 ^㉑	2:06:37
3 岩手	一関学院	2年連続 ^㉒	2:09:53	27 大阪	興国	初出場	2:08:56
4 宮城	仙台育英	12年連続 ^㉓	2:01:45	① 28 兵庫	西脇工	2年連続 ^㉔	2:03:25
5 秋田	秋田工	2年ぶり ^㉕	2:09:01	29 奈良	智辯学園奈良	9年連続 ^⑨	2:06:37
6 山形	酒田南	2年連続 ^⑧	2:08:17	30 和歌山	和歌山北	3年連続 ^㉖	2:10:08
7 福島	学法石川	15年連続 ^⑰	2:02:58	② 31 鳥取	鳥取城北	2年ぶり ^⑨	2:03:49
8 茨城	東洋大牛久	2年ぶり ^③	2:05:02	⑨ 32 島根	平田	6年連続 ^⑥	2:15:22
9 栃木	作新学院	2年連続 ^④	2:07:19	33 岡山	倉敷	48年連続 ^{④⑧}	2:04:55
⑩ 10 群馬	東農大二	7年連続 ^④	2:08:57	34 広島	世羅	22年連続 ^⑤	2:07:37
11 埼玉	埼玉栄	9年連続 ^⑤	2:07:01	35 山口	宇部鴻城	33年ぶり ^②	2:11:36
12 千葉	市船橋	8年ぶり ^⑳	2:04:47	⑦ 36 香川	四国学院大香川西	21年ぶり ^②	2:13:43
13 東京	拓大一	2年連続 ^④	2:08:36	37 徳島	つるぎ	6年連続 ^④	2:10:31
14 神奈川	東海大相模	4年ぶり ^③	2:04:24	⑥ 38 愛媛	今治北	2年ぶり ^⑳	2:07:23
15 山梨	山梨学院	15年連続 ^㉗	2:09:02	39 高知	高知農	5年連続 ^{④⑨}	2:06:36
16 新潟	中越	2年連続 ^⑨	2:05:38	40 福岡	福岡第一	2年連続 ^③	2:07:31
17 長野	佐久長聖	28年連続 ^㉘	2:11:10	41 佐賀	鳥栖工	16年連続 ^{⑤⑩}	2:06:06
18 富山	高岡向陵	2年連続 ^㉙	2:08:59	42 長崎	鎮西学院	3年連続 ^⑱	2:07:09
19 石川	遊学館	17年連続 ^⑱	2:12:40	43 大分	大分東明	15年連続 ^㉚	2:06:29
20 福井	美方	2年連続 ^㉛	2:09:43	44 熊本	九州学院	3年連続 ^{④④}	2:05:09
21 静岡	浜松日体	3年連続 ^⑪	2:10:43	45 宮崎	小林	4年連続 ^⑥	2:07:08
22 愛知	豊川	3年連続 ^⑫	2:06:23	46 鹿児島	鹿児島城西	2年ぶり ^③	2:08:15
23 三重	稲生	2年連続 ^④	2:08:41	47 沖縄	北山	7年連続 ^⑭	2:15:06
24 岐阜	美濃加茂	初出場	2:03:38	④			

※東海大相模は42.4km、美濃加茂は42kmの記録。都道府県代表47校に加えて地区代表11校も出場します。



※レースの様子は、NHK総合テレビとラジオ第1で実況中継されます(予定)。



西脇工業高等学校
校長 波部 新

「粘り強い西脇工業」の伝統を未来へ

このたび、本校陸上競技部が令和7年度兵庫県高等学校駅伝競走大会において、2年連続30回目の優勝を果たし、「全国高等学校駅伝競走大会」への出場を決めました。ここまですべての方々から温かいご声援とご支援をいただきましたこと、心より感謝申し上げます。今年度は陸上競技部のインターハイ・国民

スポーツ大会での優勝を筆頭に、数々の部活動におきまして、粘り強く最後まで辛抱して戦い抜く姿勢を見せてきています。これらの原点には、陸上を通して人間教育を実践されてきた歴代指導者の方々の思いや先輩方の活躍が、本校の伝統として浸透し、陸上に限らず学校全体に広がってきている賜物だと感じています。「千里の堤も蟻の穴より崩る」という言葉が教えてくれるように、日々の活動の中で小さな問題や油断に注意を払いながらも、新しいことにも果敢に挑戦し、「最後まで粘り強い西脇工業」の伝統を未来へとつなげてまいりたいと思います。全国の舞台でも、これまで培ってきた地道な努力を最大限発揮し、最後まで粘り強く走り抜きますので、変わらぬご声援をよろしくお願いいたします。



西脇市長
片山 象三

皆さんの強さは日頃の鍛錬の賜物

西脇工業高校陸上競技部男子が兵庫県大会を制し、35度目の全国大会へ出場されますことを心からお祝い申し上げます。兵庫県大会では積極的な先行策で独走態勢をつくと、盤石のレース運びで見事に連覇

を果たされました。天気が目まぐるしく変わる悪条件ではありましたが、持てる力を発揮して大会記録を更新された強さは、仲間とともに厳しい練習に取り組んでこられた日頃の鍛錬の賜物であると確信しております。さて、全国大会まで残りわずかとなりました。今後は体調管理に努め、万全の状態です。私たちが西脇市民は心一つにし、都大路を駆ける選手やサポートする皆さんに精いっぱいのエールを送ります。皆さんの先輩が築き上げてきた「心のたすきリレー」を都大路でも体現し、全国制覇の目標を達成されますことをご祈念申し上げます。

都大路で西脇工業高校を応援しましょう

12月21日（日）大会当日に、旧西脇市役所と西脇工業高校からたけびしスタジアム京都（西京極陸上競技場）へ向け、無料の応援バスが出ます。応援バスに乗車される方を募集しています。

▶無料バスの出発時間等

- ①西脇発
旧西脇市役所跡：午前8時15分
西脇工業高校：午前8時15分

- ②京都発
指定場所：午後3時30分

▶申込締切 12月12日（金）

▶申込み・問合せ

西脇工業高校（☎0795-22-5506）
教育委員会生涯学習課（☎0795-22-3111）

